

北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
〒803-0817 北九州市小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 Fax093-571-4346
E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

5月3日 北九州憲法フェスタが盛大に開催！

5月3日、晴れ渡る青空のもとで昨日までの雨模様の心配をフッ飛ばして「北九州憲法フェスタ」が開幕しました。

今年の憲法集会は二つの特徴がありました。一つは、去年は講演主体の憲法集会と屋外集会でしたが、今年はそれぞれの実行委員会が合体して一つの実行委員会を構成し取り組まれたこと。二つは、「食べて遊んでみんなで平和を感じよう」とお祭り形式で憲法フェスタとしての取り組みだったことです。

小倉北区勝山公園図書館横広場の中央に「食べて遊んでみんなで平和を感じよう！5・3北九州憲法FESTA」の大文字が躍る舞台に、北九州のうたごえのメンバーの合唱で始まりました。開会挨拶は、荒牧啓一実行委員会会長(9条の会・北九州憲法ネット座長)が行い、「楽しく一日を交流し、明日からの3000万署名の推進に向け頑張りましょう」と開会を宣言。続いて田村貴昭衆議院議員の「今日の東京新聞は、9条世界の宝」と報道しました」に始まるアベ政治を厳しく糾弾し、運動の前進を知らせる力強い挨拶。さらに社会民主党の佐々木まこと福岡県会議員の「市民と野党の共闘でアベ退陣まで戦おう」との来賓あいさつ。そのあとに、戦争体験者、安保法制に



反対するママの会、労働者代表で教師、医療労働者、キリスト者と各界からのリレートークが続きました。

会場には、一口カステラ、焼き鳥、たこ焼き肉うどん、カレー、唐揚げ、ビールなどおいしい食べ物・飲み物店など、フェスタらしく飲んで食べて遊べる出店がたくさん並び参加者はそれぞれ楽しんでいました。また、不用品バザーの出店もあり喜ばれていました。参加者は800人と発表され、お互い激励し合い、アベ政権打倒の決意を固めあった憲法集会となりました。

戸畑革新懇第8回総会開く

戸畑革新懇第8回総会が4月26日、同区内の「ケアハウス戸畑」交流スペースで開催されました。総会には、革新懇会員・ニュース読者の他

戸畑革新懇世話人 青木信恭
に安倍9条改憲阻止のために共同行動をすすめている民医連けんわ病院、新婦人、民商、年金者組合、共産党地域支部の人たちを含め 45

人が参加。総会は、第1部・学習会、第2部・総会議事のプログラムで進行しました。

第1部の学習テーマは「安倍9条改憲阻止の3000万人署名」、講師の岡野隆日本共産党福岡県委員長(県革新懇代表世話人)が40分間講演。憲法改定をめぐる情勢は、改憲派とわれわ



れとの国民の多数派獲得めざすせめぎ合いとなっている、改憲発議をさせないたたかいの重要性と2018年が正念場であり、3000万人署名が発議させない力になること、論戦で9条自衛隊明記論の危険性～国民騙しを論破していくことの重要性などについて熱く語りました。

第2部は総会議事。「前回総会(2017年4月)

以後の活動と2018年の運動方針」について荒川徹代表世話人が報告・提案。これを受けた討論では3人が、①社会保障改悪を許さないとりくみ ②3000万人署名と戸畑こどもと母の図書館存続の運動 ③ヒバクシャ国際署名のとりくみについてそれぞれ発言しました。

総会はつづいて、新たな世話人会の提案——代表世話人4名、世話人9名を確認、選出しました。代表世話人は、荒川徹(日本共産党北九州市議)、鉦塚さと子(「さと子の日記広場」代表)、西垣敏(元九州工業大学教授)、配川寿好(弁護士)の各氏です。

総会は、2017年度決算報告と会計監査報告、2018年度予算を承認して終了。

「改憲の発議をさせないたたかいの重要性がわかった」「3000万人署名の取り組みをもっと広げていかなければいけない」などの感想が寄せられました。

2018年度八幡西区革新懇第6回総会開催

八幡西区革新懇世話人 池村 好順

八幡西区革新懇の総会は、5月12日(土)14時から黒崎コミュニティ・204号室で行われました。天気は気持ちの良い晴天！この日いろいろな団体の催しと重なっていて、総会にどれくらいの方が参加してもらえるのか心配していましたが、34名の参加がありほっとしました。忙しいなか、本当にありがとうございました。

総会は二部構成！まず第一部は講演です。去年までは「沖縄辺野古・DVD」を上映していましたが、今年は新たな企画をしました。北九州市立大学・外国語学部長の大平剛教授を招き、「新自由主義がもたらした格差社会」という演題で講演をしていただきました。

大平剛教授は、「1、世界に広がる格差問題」から話を始めました。米国のリーマン・ショックとオキュパイ・ウォール・ストリートに関する内容です。“We are the 99%—Who are the 1%?”—格差の現実。そして格差の広がり、「2017年には



上位1%の富裕層に世界全体の富の82%が集中！」していることを指摘しました。8人の億万長者が世界中の富を独占！

次に、「2、新自由主義の拡散」の問題に話は進みました。「J.M.ケインズによる総需要管理政策」、「M.フリードマン(シカゴ派)の市場至上主



義」を紹介し、この政策を取り入れた英国:サッチャーや米国:レーガンの「小さな政府」の問題点を指摘。「規制緩和、自由化、民営化」の政策強行、「得たのは多国籍企業で国内の空洞化」などは、今の日本にもつながっていることがよくわかります。

そして、「3、日本社会の変化」へと続きます。中曽根時代・小泉時代の「民営化」や構造改革政策、そして安倍政権の「TPP、法人税減税、消費税率アップ」など、日本国内で格差と貧困が広がっていく「日本社会の変化」について説明しました。日本の相対的貧困率は、OECDのなかで悪い方から6番目！「子どもの貧困率」は13.9%で依然として高い数字です。

大平剛教授は、きちんとした資料と数字に基づき50分という限られた時間でしたが、「新自由主義がもたらした格差社会」について縦横に語っていただきました。会場からの3人の質問にも、丁寧にこたえていただきました。大学のゼミでも、こうしたことを話題にして学生さんと意見交換をしているそうです。多忙な中、快く講演を引き受けていただき本当に感謝申し上げます。

○いよいよ第二部・総会です！

議事進行を世話人の雪竹さんをお願いしました。開会挨拶は北川先生。来賓はお二人でしたが、代表して伊藤淳一県議予定候補(八幡西区・日本共産党)が挨拶をされました。(まじま前衆議院議員も参加されていましたが、時間の都合で途中退室。)

経過報告を嶋事務室長が行いました。(1)安倍9条改憲NO！3000万人署名運動、(2)再稼働反対・原発ゼロをめざす運動の取り組みについて、(3)2017年度「地域・職場・青年革新懇全国交流会in愛知」、(4)4・29 菊池恵楓園訪問活動等、(5)会員・読者の拡大の5項目について経過報告をしました。

特に「3000万人署名」運動では、1月28日に結成された「安倍9条改憲NO！八幡市民アクション」に八幡西区革新懇として参加し、毎月2回の黒崎駅前宣伝など積極的に参加して八幡地域での「3000万人署名」運動をすすめてきた経過を、詳しく報告しました。活動方針提案・世話人紹介を池村が行い、財政報告は嶋事務室長が説明・提案をしました。総会の最後に、会場の皆さんの大きな拍手で提案事項のすべてを承認してもらい、閉会挨拶を安永世話人が行って締めくくりました。

会場の参加者全員で引き続き「3000万人署名」に取り組むことを確認し、八幡西区革新懇・総会を無事終えることができました。憲法9条を守るたかひは、これからが正念場です。全国の仲間と連帯し「安倍9条改憲NO！」・「安倍政権退場！」の運動を、八幡の地でこれからも継続・発展させていきます。

安倍政権下の改憲「反対」58% 朝日新聞

5月3日の憲法記念日を前に、朝日新聞社は憲法を中心に全国世論調査(郵送)を実施しました。安倍政権のもとで憲法改正を実現することに「反対」は58%(昨年調査では50%)、「賛成」は30%(同38%)で、昨年調査よりも「反対」が増え、「賛成」が減りました。安倍首相が昨年の憲法記念日に打ち出した自衛隊の存在を明記する改正案には、「反対」53%が「賛成」39%を上回りました。

◆憲法第9条の条文です。(憲法9条条文は省略)あなたは、憲法第9条を変えるほうがよいと思いますか。変えないほうがよいと思いますか。変えるほうがよい32変えないほうがよい63 その他・答えない5

◆あなたは、集団的自衛権を使えるようにしたり、自衛隊の海外活動を広げたりする安全保障関連法に、賛成ですか。反対ですか。

賛成40 反対44 その他・答えない16

◆集団的自衛権の行使について、あなたの考えに近いのは、次のうちどれですか。

積極的に行使すべきだ11 抑制的に行使すべきだ54 そもそも行使すべきではない30
その他・答えない5

◆あなたは、いまの自衛隊は、憲法に違反していると思いますか。違反していないと思いますか。違反している23 違反していない65 その他・答えない12

◆安倍首相は、憲法9条の1項と2項をそのままにして、新たに自衛隊の存在を明記する憲法改正案を提案しています。あなたは、こうした9条の改正に賛成ですか。反対ですか。

賛成39 反対53 その他・答えない8

◆安倍首相は、今の憲法のままで自衛隊員に命を

張ってくれというのは無責任であり、憲法9条に自衛隊の存在を明記して、違憲の疑いをなくすことが必要だと説明しています。あなたは、こうした改憲理由に納得できますか。納得できませんか。

納得できる37 納得できない55 その他・答えない8

◆安倍首相は憲法改正を目指すことを明言しています。安倍政権のもとで憲法改正を実現することに、あなたは賛成ですか。反対ですか。

賛成30 反対58 その他・答えない12

◆日本の防衛政策は、「専守防衛」の方針をとっています。あなたは、日本が専守防衛の方針を今後も維持するべきだと思いますか。見直すべきだと思いますか。

今後も維持するべきだ69 見直すべきだ25

その他・答えない63

社説で「首相の都合で進める改憲は、もう終わりにする時だ」と!

5月3日の社説「安倍政権と憲法改憲を語る資格あるのか」では、次のように主張しています。

憲法施行から70年の節目にあったこの1年で、はっきりしたことがある。それは、安倍政権が憲法改正を進める土台は崩れた、ということだ。そもそも憲法とは、国民の側から国家権力を縛る最高法規であ

る。行政の長の首相が改憲の旗を振ること自体、立憲主義にそぐわない。それに加え「安倍1強政治」のうみとでもいうべき不祥事が、次々と明らかになっている。憲法の定める国の統治の原理がないがしろにされる事態である。とても、まっとうな改憲論議ができる環境にない。

全国革新懇は第38回総会を開催します

(会員の皆様へ)

全国革新懇は第38回総会と記念レセプションを下記の通り、開催いたします。

日本の命運をかけた、憲法改悪阻止のたたかいが正念場を迎えています。各地の革新懇が身近な要求をとりあげて多彩で豊かな活動をすすめるとともに、「市民と野党の共闘」を草の根から発展させ、3000万署名の力で安倍9条改憲の国会発議を断固阻止するため奮闘しています。

安倍政権が、辺野古基地建設強行、原発推進、労働法制・社会保障制度の大改悪など国民の命と暮らしを脅かす暴走政治を重ねるなか、生活向上、民主主義、平和の3つの共同目標をかがげ、確固とした展望を持つ統一戦線の推進力である革新懇運動のいっそうの発展が求められます。全国革新懇は、広範な市民、団体、個人との共同をつよめ、「市民と野党の共闘」の発展に尽力するとともに、次期国政選挙を視野に、新しい情勢に応えうる革新懇づくり、「全国革新懇ニュース」の普及に奮闘しています。

こうしたなかで開かれる総会を革新懇運動のいっそうの発展へのあらたな出発の場として成功させたいと考えています。ぜひ、ご参加ください。

○ 日時:5月19日(土)

* 全国革新懇第38回総会…午前11時から午後5時まで

* 記念レセプション…午後5時30分から

○ 会場:学士会館 東京都千代田区神田錦町 3-28 TEL.03-3292-5936

(地下鉄「神保町」駅 A9 出口徒歩1分)